

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コンテック

コード番号 6639 URL <http://www.contec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 漆崎 榮二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 藤井 貢

TEL 06-6472-7130

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,148	△42.9	△436	—	△448	—	△444	—
21年3月期第1四半期	3,762	—	△102	—	△114	—	△104	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△134.61	—
21年3月期第1四半期	△31.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	12,470	4,832	38.6	1,456.96
21年3月期	12,498	5,255	42.1	1,592.69

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,807百万円 21年3月期 5,255百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,500	△47.9	△570	—	△610	—	△430	—	△130.30
通期	10,800	△33.3	50	—	20	—	50	—	15.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 康泰克科技股分有限公司) 除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 3,300,000株 | 21年3月期 | 3,300,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | —株 | 21年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 3,300,000株 | 21年3月期第1四半期 | 3,300,000株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正しております。
- 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成21年4月1日～平成21年6月30日)におけるわが国経済は、対外経済環境の改善など一部に持ち直しの動きがみられるものの、生産活動が極めて低い水準にあり、企業の設備投資も大幅に減少していることなどから、依然厳しい状況となっております。

当社グループでは、昨年より顧客密着型の営業を積極的に推進し、それに対応した商品開発を行っております。しかしながら、昨年来の世界的な景気悪化に伴う設備投資の低迷を受けて、売上が前年同四半期に比べ大幅に減少いたしました。

当社グループの営業状況は、売上高2,148百万円(前年同期比42.9%減)、営業損失は436百万円、経常損失は448百万円、四半期純損失は444百万円となりました。

事業部門別の概況は次のとおりであります。

(1) デバイス&コンポーネント事業部門

当事業部門では、顧客の要求に柔軟に対応出来る小型・省電力の「ボックスコンピュータ」や、検査計測システム用コンピューターなどの新商品を市場に投入し、提案型営業、課題解決型営業を行うことで、新規顧客の開拓やロイヤルカスタマーの獲得に取り組んでおります。

しかしながら、二次電池、太陽光発電市場や液晶関連市場で需要回復の気配が見られるものの、前年同四半期と比べると、半導体及び自動車関連業界の設備投資が大幅に減少していることを受け、売上高は998百万円(前年同期比45.7%減)となりました。

(2) ソリューション&サービス事業部門

当事業部門では、成長が期待される太陽光発電計測システム、遠隔監視システム分野に対して積極的な販売活動を行いました。しかしながら、前年同四半期と比べて、自動車関連業界の設備投資が大幅に減少したため、主力の同業界向けシステムの販売が低調となり、売上高は125百万円(前年同期比23.1%減)となりました。

(3) EMS (Electronic Manufacturing Service) 事業部門

当事業部門では、EMS事業拡大のため新規顧客開拓を進めておりますが、前年同四半期と比べて、主力である株式会社ダイフクの物流システム部門からの受注が減少したため、売上高は1,025百万円(前年同期比41.8%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は12,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に売上債権の減少664百万円、棚卸資産の減少122百万円、現金及び預金の増加797百万円であります。

負債の残高は7,637百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円増加いたしました。これは主に借入金の増加1,012百万円、仕入債務の減少593百万円であります。

純資産の残高は4,832百万円となり前連結会計年度末に比べ423百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失、配当金の支払等による利益剰余金の減少516百万円、為替換算調整勘定の増加57百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ797百万円増加しました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは201百万円の支出超過となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失が437百万円、仕入債務減少による603百万円の支出、売上債権減少による686百万円の収入、棚卸資産減少による143百万円の収入であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは19百万円の収入超過となりました。主な内訳は、保険解約等による33百万円の収入、固定資産取得による13百万円の支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは950百万円の収入超過となりました。主な内訳は、短期借入による1,000百万円の収入、配当金の支払による72百万円の支出であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日の決算発表時に公表いたしました業績予想のうち、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、海外販売の拡大を目的として、平成21年5月21日付けで磐儀科技股分有限公司と合弁会社「康泰克科技股分有限公司」を設立いたしました。設立会社の出資比率は、当社が81%、磐儀科技股分有限公司が19%であり、当社の連結子会社であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に一時差異の発生状況に著しい変化が認められるので、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において、前連結会計年度末の検討において使用した業績予測やタックス・プランニングに当該変化による影響を加味したものを使用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用することとしております。

ただし、当第1四半期連結会計期間においては、工事進行基準の適用対象となる工事契約はなかったため、この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,042,999	2,245,253
受取手形及び売掛金	2,017,390	2,682,164
商品及び製品	1,778,406	1,973,000
仕掛品	452,351	381,768
原材料及び貯蔵品	1,208,325	1,206,695
その他	337,313	298,838
貸倒引当金	△46,329	△43,978
流動資産合計	8,790,456	8,743,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,181,550	1,173,155
機械装置及び運搬具(純額)	84,115	76,886
工具、器具及び備品(純額)	73,700	80,588
土地	1,389,919	1,389,919
リース資産(純額)	5,731	6,122
建設仮勘定	150	—
その他(純額)	—	15
有形固定資産合計	2,735,167	2,726,688
無形固定資産		
ソフトウェア	328,568	355,797
その他	9,476	9,478
無形固定資産合計	338,044	365,275
投資その他の資産		
投資有価証券	202,775	191,077
その他	403,720	486,005
貸倒引当金	—	△14,339
投資その他の資産合計	606,495	662,744
固定資産合計	3,679,706	3,754,708
資産合計	12,470,163	12,498,449

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,444,429	2,037,955
短期借入金	2,021,122	2,008,389
関係会社短期借入金	1,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,200,000
繰延税金負債	—	182
リース債務	1,563	1,563
未払法人税等	26,280	74,662
その他	747,406	659,971
流動負債合計	6,440,802	5,982,724
固定負債		
長期借入金	800,000	800,000
リース債務	4,168	4,559
退職給付引当金	343,212	329,902
その他	49,115	125,395
固定負債合計	1,196,496	1,259,856
負債合計	7,637,298	7,242,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,600	1,119,600
資本剰余金	669,600	669,600
利益剰余金	3,111,160	3,627,980
株主資本合計	4,900,360	5,417,180
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,269	△19,966
繰延ヘッジ損益	△469	263
為替換算調整勘定	△83,668	△141,609
評価・換算差額等合計	△92,407	△161,312
少数株主持分	24,912	—
純資産合計	4,832,865	5,255,867
負債純資産合計	12,470,163	12,498,449

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,762,656	2,148,532
売上原価	2,882,076	1,819,673
売上総利益	880,580	328,859
販売費及び一般管理費		
販売費	473,207	380,048
一般管理費	510,072	384,941
販売費及び一般管理費合計	983,280	764,989
営業損失(△)	△102,700	△436,130
営業外収益		
受取利息	3,078	396
受取配当金	1,472	1,385
為替差益	—	5,652
受取賃貸料	5,199	2,856
その他	5,602	1,016
営業外収益合計	15,352	11,308
営業外費用		
支払利息	16,945	21,147
為替差損	9,493	—
その他	218	2,526
営業外費用合計	26,657	23,674
経常損失(△)	△114,004	△448,496
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,090
保険解約返戻金	—	9,346
特別利益合計	—	11,436
特別損失		
固定資産売却損	35,509	—
固定資産除却損	—	255
特別損失合計	35,509	255
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,514	△437,314
法人税、住民税及び事業税	28,216	6,905
法人税等調整額	△73,603	—
法人税等合計	△45,387	6,905
四半期純損失(△)	△104,126	△444,220

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,514	△437,314
減価償却費	57,281	66,124
のれん償却額	13,153	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	250	△2,090
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,916	17,058
受取利息及び受取配当金	△4,551	△1,782
支払利息	16,945	21,147
為替差損益(△は益)	△427	△2,138
有形固定資産除却損	—	255
有形固定資産売却損益(△は益)	35,509	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,186,673	686,122
たな卸資産の増減額(△は増加)	△520,975	143,277
仕入債務の増減額(△は減少)	△485,703	△603,429
その他	58,954	△13,057
小計	203,680	△125,827
利息及び配当金の受取額	4,171	1,617
利息の支払額	△13,911	△18,898
法人税等の支払額	△216,467	△58,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,527	△201,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53,298	△7,890
有形固定資産の売却による収入	138,663	—
無形固定資産の取得による支出	△94,425	△5,851
その他	4,642	33,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,417	19,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	1,000,000
長期借入れによる収入	800,000	—
長期借入金の返済による支出	△800,000	—
配当金の支払額	△72,600	△72,894
少数株主からの払込みによる収入	—	23,769
リース債務の返済による支出	—	△390
財務活動によるキャッシュ・フロー	177,400	950,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,746	29,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,708	797,746
現金及び現金同等物の期首残高	2,853,385	2,245,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,980,093	3,042,999

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は、コンピューター及びその関連機器の開発、製造、加工、販売を行う単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	3,606,205	28,239	128,211	3,762,656	—	3,762,656
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	85,466	3,124	327,574	416,165	(416,165)	—
計	3,691,671	31,363	455,786	4,178,821	(416,165)	3,762,656
営業損失(△)	△80,750	△4,977	△11,480	△97,208	(5,491)	△102,700

(注)1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………中国、台湾

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,063,549	11,319	73,663	2,148,532	—	2,148,532
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,382	1,632	180,253	210,268	(210,268)	—
計	2,091,932	12,952	253,916	2,358,800	(210,268)	2,148,532
営業損失(△)	△390,685	△9,797	△33,973	△434,456	(1,673)	△436,130

(注)1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………中国、台湾

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。